



ICT活用で広がる子どもたち一人一人のカラー



発行：長野県特別支援学校 ICT 活用推進担当者会

第1号
2023年5月31日

長野県特別支援学校で ICT 活用が広がっています

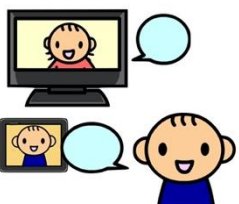
長野県の特別支援学校では、1人1台のデジタル端末として iPad（アイパッド）等が導入されています。

昨年度は、音声を再生するアプリを使って朝の会を進行する児童や、iPad につなげたスイッチを使ってクイズの選択肢を選んで答える生徒など、実際に長野県の特別支援学校で行われている活用の様子を紹介しました（※1）。


今年度も、長野県の ICT 活用推進に関する情報や、県内特別支援学校の素敵な取り組みをみなさんにお知らせしていきます。

「きみいろ」には、児童生徒1人ひとりに合った ICT 活用が広がることで、それぞれの個性が色とりどりに輝くようにという思いが込められています。


いろいろな場面で活用されています



地域の学校とオンラインで交流をしています




iPadで手順をだして1人で身支度をしています



音楽が楽しかったです！
画像を選んで活動の感想発表をしています

（※1）活用を紹介した通信はこのQRコードから見るができます

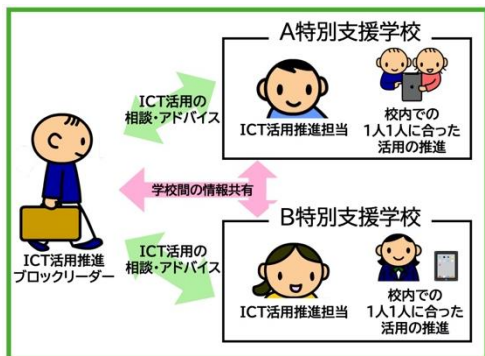


ICT 活用推進担当者ってどんな仕事をしているの？

昨年度より、各校に1人ずつ「ICT 活用推進担当者」がいます。ICT 活用推進担当者の仕事は校内での ICT 活用を進めることです。担任と連携をとりながら、その子に合った ICT の活用方法を一緒に考えたり、個々のニーズに合った ICT 活用が個別の指導計画に反映されるように校内の様子を見て回ったりしています。他にも、活用についての研修会を開いたり、他の学校と情報交換をして、有効な活用方法を校内に広めたりしています。

ブロックリーダーってどんな仕事をしているの？

北信、中信、東信、南信の各地域に1人ずつの「ICT 活用推進ブロックリーダー」がいます。担当地域を中心に学校を巡回しながら、先生たちの相談によって ICT の活用方法の提案をしたり、研修会のお手伝いをしたりします。また、巡回する中で見られた各学校のよい活用例や支援のアイデアなどを、ブロックリーダーや ICT 活用推進担当者と共有して広めています。



4名のブロックリーダーを紹介します

中信地区担当
柴田 眞優美
(寿台養護学校)

ブロックリーダー代表兼
北信地区担当
青木 高光
(長野養護学校三輪教室)

南信地区担当
小室 惟
(飯田養護学校)

東信地区担当
山浦 雅史
(小諸養護学校)

昨年度に引き続き、この4名で各学校を回り、
授業や活動の様子を見させていただきます。
1年間よろしくお願いいたします！

ブロックリーダーと ICT 活用推進担当者の連携 ～ 東信地区のお話 ～



東信地区担当
山浦

上田養護では、個別学習で多くの児童生徒が iPad を活用していました。その中で、学習内容によっては iPad だけではなく、他の教材と組み合わせさせて使いながら学べるとよいことをアドバイスしました。



上田養護 ICT
活用推進担当者

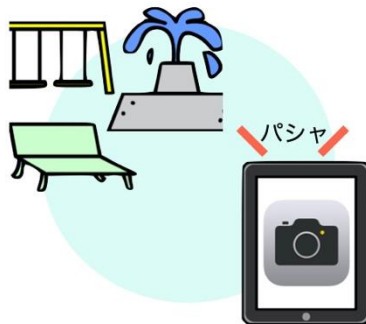
アドバイスを受けて、iPad のアプリを使って個別学習をしている子の評価をどうするか考え直しました。また、生徒に合わせた教材を作り、iPad と組み合わせた学習を担当の先生と進めることができました。

じどうせいと
児童生徒の
みなさんへ

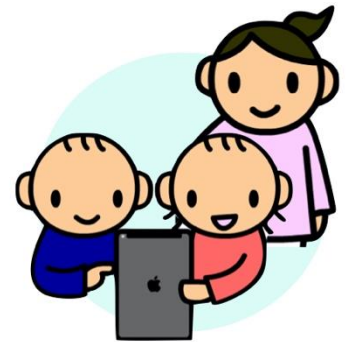
いえ つか iPadを家でも使ってみよう



いえ つか
家でもiPadを使えるか
せんせい そうだん
先生と相談しよう



いえ たの つか
家で楽しかったことや
お出かけ先の写真をとろう



しゃしん にっき
写真が日記になるよ
せんせい み
先生に見せよう！



しゃしん
写真を撮ってはいけない場所
もあるよ。大人のひとと確認し
てからしゃしん
写真を撮ろう！



はい つか
iPadに入っているメモアプリを使うと
しゃしん
写真といっしょにぶんしょう い
文章も入れられるよ。
ほかにえ にっき
絵日記のアプリがあるからため
してみよう！

※毎号「児童生徒のみなさんへ」のコーナーがあります。お子さんと一緒にチェックしてみてください。

文責：長野県特別支援学校 ICT 活用推進ブロックリーダー